

乳腺センター

女性患者さんに丁寧に向き合いベストな診療を

乳腺センター センター長 亀井義明

日本人女性の「9人に1人」が罹患する乳がん。日本では今も増加傾向で女性のがんとして患者数が1位になっており、残念ながら愛媛県も同様の傾向です。2011年の乳腺センター設立から10年が過ぎ、2名だったスタッフも10名を超えました。最初は外科外来の1室から始まり、2013年には新外来棟2階に移転し3室に。患者数増加を受け2022年1月から3階へ移転。診察室3室・エコー室2室の計5室になりました。待ち時間も短縮され、今回の移転は患者さんへのサービス向上につながりました。スタッフ全員が心がけていることは「目の前にいる患者さんのためのベストな診療」です。大学病院として最新の高度医療を提供することはもちろんですが、患者数が多くなっても患者さん一人一人のお話を十分に丁寧に聞くことを忘れず、常に目の前の患者さんのためになることを全てやろうと考えています。乳がんでは薬物療法の進化がとても速いです。最新の知見を集め、患者さんに還元することを日々実践しています。



PROFILE

かめいよしあき◎1995年愛媛大学医学部卒業。第一外科に入局、県立中央病院、市立宇和島病院、今治市民病院、松山市民病院、がん研有明病院乳腺センターを経て2011年から現職。趣味はサッカー・野球観戦。